

医学部附属看護専門学校
令和4年度自己点検・評価及び学校関係者評価報告書

1 目的

医学部附属看護専門学校（以下「本校という」）において実施した自己点検・評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、本校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ることなどを目的とする。

2 基本方針

本校において、自己点検・評価を実施し、「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省：平成25年3月策定）を参照し、複数名の評価者により本校の学校関係者評価を行うことを基本方針とする。

① 自己点検・評価の実施

本校において、点検・評価項目を5項目設定した。

学校関係者評価実施前に、本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階の取組評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）を作成した。

（A：十分できている，B：おおむねできている，C：一部改善が必要，D：できていない）

<点検・評価項目>

①カリキュラムポリシーに基づき、学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
②成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。
③ディプロマポリシーに明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。
④教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。
⑤学生支援を適切に行っているか。

② 学校関係者評価の実施

- (1) 評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。
- (2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様式2）の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を評価者に説明した。
- (3) 各評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」（様

式2)にまとめるとともに、取組評価を以下の4段階で評価した。

(A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない)

- (4) 評価者の互選による代表者は、各評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」(様式2)を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」(様式1)にて評価結果(総評)を作成した。

3 学校関係者評価協議会構成員

① 評価者

(1) 卒業生

中山 みどり (昭和61年医学部附属看護専門学校卒業)

(2) 学校の専門分野における関係団体・関係業界

力石 礼子 (日本大学病院看護師長補佐)

(3) 地域住民

西井 陽子

(4) 保護者代表

青木 恵子

② 日本大学医学部附属看護専門学校関係者

石原 寿光 校長

大橋 初枝 副校長

木根 久江 主事

今野 千春 教務主任

渡邊 厚子 教務副主任

立石 重美 医学部事務長

飯田 邦博 医学部特任課長

4 学校関係者評価協議会開催日時

① 第1回 令和4年10月19日(水) 午後3時～4時30分

② 第2回 令和4年12月21日(水) 午後3時～4時

5 評価結果(総評)

自己点検・評価結果については、学外評価者の総評と自己点検・評価結果の5評価項目全てが合致しており、適切であるとの結論に至った。

取組内容については、令和4年度入学生より新カリキュラムが導入され、看護師に必要なコミュニケーション能力や臨床判断能力をはじめ、いくつかの新たな教育目標が明示され、それに基づいた具体性のある教育が実施されている。科目によっては新旧カリキュラムの受講者の混在が避けられないため、原級留置者の学習の保証を確保しながら、更なる教育の質の向上に努めていただきたい。また、今後はル

ーブリック評価を積極的に取り入れていく方針であることが報告されており、多方面から学生の達成度を評価することに期待ができる。

コロナの影響により依然として臨地実習で経験できる看護技術は少ないため、個人の技術到達度記録の集計・分析をすることで効果的な技術の習得ができるよう努めていただきたい。

自己点検・評価結果にあるように教員の時間外業務が多い。要因としてコロナ禍に伴う実習とオンライン授業の二重体制での業務，追試験・再試験，学生への精神面へのフォローなど改善が困難な内容が多い。その中で，会議時間の短縮，業務改善，教員個々のタイムマネジメントへの意識向上を試み，看護師国家試験の高い合格率の維持や研究活動の時間確保を行い，学会発表を行うなど教員の努力が評価できる。過密な業務体制の中，社会情勢による教育環境への影響に的確に対応させており，今後もさらなる柔軟な教育活動に創意工夫を凝らすことを期待している。

以 上